

国立国語研究所学術情報リポジトリ

はじめに

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002471

はじめに

「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」は、国立国語研究所の基幹型共同研究プロジェクトとして2009年10月にスタートしました。2010年度からは毎年、共同研究者や若手研究者が1カ所に集まって共同で調査を行う合同調査を実施しています。これまで、沖縄県宮古島・久米島、鹿児島県喜界島・与論島・沖永良部島、東京都八丈島、島根県出雲・隠岐の島、宮崎県椎葉村で合同調査を行なってきました。本書は、そのうちの、鹿児島県与論方言・沖永良部方言調査（2012年12月）の調査報告書です。

調査の折りには、たくさんの方にお世話になりました。お忙しいなか、公民館まで足を運んでくださり、親切に方言を教えてくださいました方々に深く御礼申し上げます。みなさんのおかげで、このような報告書を作成することができました。また、教育長をはじめ教育委員会のみなさんには、調査の準備の段階から、実施、調査の報告会「島ことば・調査のつどい」に至るまで、大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。

この報告書の内容は、島の方言全体から見ると、ごく一部のわずかなものにすぎませんが、方言の研究や記録・保存の資料として、少しでも多くの方々に使っていただければ幸いです。また、国立国語研究所ホームページの中の「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」のページで本書のPDF版を公開しています。こちらもぜひ、ご覧ください。

2016年2月25日

国立国語研究所 木部 暢子